

杉並総合高等学校 令和3年度 教科 国語 科目 現代文B 年間授業計画

教科：国語 科目：現代文B 単位数：2単位
対象学年組：第2学年21R～26R
使用教科書：（第一学習社 高等学校 改訂版 現代文B）
使用教材：（数研出版「豊かな語彙力をはぐくむ新しい常用漢字」・いづな書店「改訂版 プログレス 現代文総演習 標準編」）

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	評論「自他の『間合い』」	「読むこと」 ○文章の構成や展開を的確に捉え、それを通じて筆者の主張を正確に理解する。 ○筆者の問題意識や普遍性のある主張を読み取る。 ○本文の読解を通じて、現代社会や身の回りのさまざまな物事に対する気づきを得るとともに、それについて深く考える力を養う。 「言語活動」 ○筆者の見解をふまえて話し合う。 ○自分の意見文を書く。	①関心・意欲・態度 授業態度、授業中の発言、提出物の内容など ②読む力 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など ③知識・理解 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など	4
5月 6月 7月	小説「山月記」	「読むこと」 ○小説の構成を確認するとともに主人公が自分の言葉に促されて自己分析を進めていく過程を把握する。 ○人間とは何かについて、考えを深める。 ○漢文的な表現が醸し出す独特の雰囲気味わう登場人物の心情を的確にとらえることができる。 「言語活動」 ○人間が虎になるという虚構に注目してこの小説の主題について話し合う。 ○「山月記」を読んだ感想を読み、リアクションペーパーに意見を記述する。	①関心・意欲・態度 授業態度、授業中の発言、提出物の内容など ②読む力 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など ③知識・理解 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など	8
	期末考査 答案返却、考査の振り返り	「期末考査」の振り返りをさせる。 ・出題のねらいの説明 ・問題の考え方と答え方の説明		2
9月 10月	随想 「『自明性の罌』からの解放」 	「読むこと」 ○読み手の主張を理解することができる。 ・本文の内容を、字数指定で要約する。 ○基本的な語彙について知識を得る。 ・学習した語彙を用いて例文をつくる。 「言語活動」 ○論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書く。	①関心・意欲・態度 授業態度、授業中の発言、提出物の内容など ②読む力 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など ③知識・理解 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など	4
	評論「消費社会とは何か」 	「読むこと」 ○消費社会批判における筆者の主張を確認させ、それがどのような論理展開によって導かれているかを整理する。 ○自らにとっての賛否ないし消費を問い直し、「現代社会」を批判的に問う力を付ける。 「言語活動」 ○筆者が批判する「消費社会」の特徴をまとめ、身近な例をあげて話し合う。	①関心・意欲・態度 授業態度、授業中の発言、提出物の内容など ②読む力 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など ③知識・理解 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など	6
	中間考査 答案返却、考査の振り返り	「中間考査」の振り返りをさせる。 ・出題のねらいの説明 ・問題の考え方と答え方の説明		2

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月 12 月	小説 「タオル」 	「読むこと」 ○作品の構成と展開を理解する。 ○小説を通じて人間の「生」の意味と意義を考える。 ○テーマを的確に捉え、他者の体験や心情を自己の問題として捉え直す。 「言語活動」 ○人物の生き方やその表現の仕方について話し合う。	①関心・意欲・態度 授業態度、授業中の発言、提出物の内容など ②読む力 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など ③知識・理解 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など	8
	評論 「働かないアリに意義がある」 	「読むこと」 ○筆者の問題意識を把握し、文章構成や論の展開を整理する。また、それぞれの題材がどのような意図で採用されているかを意識して読解する。 ○幅広く提起される諸問題が本文中でどのように扱われているか、どのような主張につながっているかを確認する。 ○本文中で扱われている問題を自分のものとして受けとめ、社会に対する自分なりの視点や考えを持つ。 「言語活動」 ○「大学の社会的役割」に関して、筆者の意見を押さえたうえで自分の意見を考え発表する。	①関心・意欲・態度 授業態度、授業中の発言、提出物の内容など ②読む力 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など ③知識・理解 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など	8
	期末考査 答案返却、考査の振り返り	「期末考査」の振り返りをさせる。 ・出題のねらいの説明 ・問題の考え方と答え方の説明		2
1 月 2 月 3 月	小説「ころも」 	「読むこと」 ○登場人物の心情を的確にとらえることができる。 ○小説の読み方の基本となる点を理解させる。 ・根拠から推測という読解のやり方を実践させる。 ・記述からいろいろな読み取り方が可能であることを実感させる。 ○現代に置き換えると、どんなことが考えられるかを考えさせる。 「言語活動」 ○登場人物や、本編までの展開を自分で調べノートにまとめる。	①関心・意欲・態度 授業態度、授業中の発言、提出物の内容など ②読む力 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など ③知識・理解 定期考査、ワークシートの記述、提出物の内容など	14
	学年末考査 答案返却、考査の振り返り	「学年末」の振り返りをさせる。 ・出題のねらいの説明 ・問題の考え方と答え方の説明		2